



鶴田町洪水ハザードマップを更新します

洪水ハザードマップを全戸配布します

町では、町民の皆様がいざという時に命を守る避難行動をとれるように、「洪水ハザードマップ」を作成し、地域の災害リスクについて広報しています。

近日中に洪水ハザードマップを更新し、町ホームページへの掲載や全戸配布をいたしますのでご確認ください。

適切な避難行動をとるために

風水害が起こる前に、お住まいの地域でどの程度の浸水が想定されるかを洪水ハザードマップなどで確認し、どのような場合に避難するかを「避難行動判定フロー」で確認しておきましょう。



河川氾濫など水害への備え

避難行動判定フロー

ご自宅の周辺の浸水の深さは浸水想定区域図（洪水ハザードマップ）をご確認ください

START

ご自宅の周辺は
着色されていますか？

いいえ

避難の必要はありません。
あくまで想定ですので、避難情報を
参考に必要に応じて避難してください

はい

災害の危険があるため、原則として
安全な場所への避難必要

場合に
よっては

自宅にとどまり
安全確保することが可能な場合もあります

- ① 浸水の危険があっても、洪水により家が倒れる恐れがある区域ではない。
- ② 浸水しても水が引くまで我慢できる、もしくは水や食糧などの備えが十分にある場合。
- ③ 浸水する深さよりも自宅の上階の床面が高い場合。

ご自身または一緒に避難する人は、
避難に時間がかかる人（高齢者・障害者・
乳幼児など）ですか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて
頼ることができる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら
安全な親戚宅や知人宅に
避難しましょう

いいえ

警戒レベル3が出たら
町の指定する
避難所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて
頼ることができる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら
安全な親戚宅や知人宅に
避難しましょう

いいえ

警戒レベル4が出たら
町の指定する
避難所に避難しましょう

⚠ 上記はあくまで目安です。建物により居室の高さが異なりますので、上記図によらない場合があります。

町からの避難情報などを受け取るために
“つるりん” ほっとメールへご登録を



“つるりん” ほっとメールは、町民の皆さまの携帯電話やパソコンに、防犯・防災情報など様々な情報をお知らせするシステムです。

※新システムへの移行作業を実施することから、3月17日以降に以下の手順でご登録をお願いします。

1

2次元コードを読み込み
空メールを送信します。



△スマートフォン用



△フィーチャーフォン
(ガラケー) 用

t-tsuruta@sg-p.jp

※二次元コードの読み込み機能がない
場合は、上記のメールアドレスを入
力し、空メールを送信してください。

2

返信されたメールに
記載されたアドレス
(URL) にアクセス。

利用規約を確認し、
「同意する」ボタンを
押す。

3

配信を希望する情報を
選択。

- ・イベント情報
- ・災害情報
- ・町からのお知らせ
- ・防犯情報
- ・観光情報
- ・健康・医療情報
- ・農作物管理情報

内容を確認し、「登録」
を押す。

登録完了

■問い合わせ先：総務課 人事行政班 TEL：0173-22-2111（内線271）

自主防災組織を対象にした避難所運営研修

自主防災組織とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、地域の人々が自主的につくる、防災活動を行う組織です。

平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食・給水などの活動を行います。



▲講師のアドバイスを聞きプライバシーを守るための仕切りを設置する参加者たち

2月28日（火）、町の自主防災組織を対象にした避難所運営研修が町公民館で行われ、5地区の自主防災組織・計30人の町民が参加しました。

研修に参加した町民たちは、講師からプライバシーに配慮した避難所についてアドバイスを受けながら設営に取り掛かりました。設営では高齢者といった支援が必要な人と乳幼児を抱える人が滞在する部屋を分け、段ボール製の簡易ベッドを作ったり、テントを立てたりして、それぞれにふさわしいレイアウトに仕上げていました。

8月大雨災害時の活動が評価され 国交大臣賞を受賞

鶴田町消防団（下山正彦団長）は、令和4年8月の大雨災害時の活動が認められ、水防功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

町消防団は令和4年8月9日～12日、延べ373人の団員が出動。河川氾濫を防ぐために約2000個の土のうを作って川沿いに積んだほか、道路の排水作業や住民の避難誘導などを行いました。これらの活動が評価され、2月7日に令和4年度の水防功労者として国土交通大臣から表彰を受けました。同月14日には町役場を訪ね、相川町長へ受賞の報告を行いました。

下山団長は「長時間にわたっての作業で団員には苦勞を掛けた。受賞は団員の励みになる。これからもあらゆる災害に対応できるよう団員一丸となって日々精進していく」と思いを語りました。



▲相川町長（右）に受賞報告を行った下山団長（左）